

# 中学校生徒指導要録記入例

## 中学校生徒指導要録（参考様式）

様式1（学籍に関する記録）

学籍に関する記録は、学齢簿の記載に基づき、学年当初及び異動の生じたときに記入する。

区分	学年	1	2	3
学級				
整理番号				

生徒の毎学年の所属学級と番号を記入する。整理番号は、学校の実情に応じて適切に付ける。

学籍の記録				
生徒	ふりがな		性別	入学・編入学等 平成 年 月 日 第1学年 入学 第 学年編入学
	氏名			
	生年月日	平成 年 月 日生	生徒が第1学年に入学した年月日を記入する。	
現住所	住所変更も、学齢簿の変更に基づく。二重線を引いて消し、新住所と変更の年月日を記入する。	転入学 平成 年 月 日 第 学年転入学	他の中学校から転校してきた生徒について、転入学年月日、転入学年、前に在学していた学校名、所在地及び転入学の事由等を記入する。	
	現住所	生徒の現住所と同一の場合は「生徒の欄に同じ」と略記できる。	転学・退学等 (平成 年 月 日) 平成 年 月 日	他の中学校に転学する場合には、上段に学校を去った年月日、下段に転学先の学校が受け入れた年月日の前日（除籍日）、転学先の学校名、所在地、転入学年及びその事由等を記入する。
入学前の経歴	中学校に入学するまでの教育関係の略歴を記入する。	進学先 就職先等	進学先の学校名及び所在地、就職先の事業所名及び所在地等を記入する。	
学校名及び所在地 (分校名・所在地等)	正確な学校名を記入する。また、所在地も正確に記入する。			
年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	
区分 / 学年	1	2	3	
校長氏名印	各年度に、校長の氏名、学級担任者の氏名を記入し、それぞれ押印する。同一年度内に校長又は学級担任者が代わった場合には、その都度後任者の氏名を併記する。その場合は、前任者の氏名の下に期間を記入する。臨時的任用教員については、産休代替等で当該学年の一部を担当した場合、氏名を記入し、その下に括弧書きで期間を記入する。			
学級担任者氏名印				

様式2 (指導に関する記録)

生徒氏名		学校名			区分	学年	1	2	3		
					学級						
					整理番号						
各教科の学習の記録											
I 観点別学習状況											
教科	観点	学年	1	2	3	教科	観点	学年	1	2	3
国語	国語への関心・意欲・態度					国語					
	<p>観点別学習状況については、中学校学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、その実現状況を観点ごとに評価し、A、B、Cの記号により記入する。この場合、「十分満足できると判断されるもの」をA、「おおむね満足できると判断されるもの」をB、「努力を要すると判断されるもの」をCのように区別して、評価を記入する。また、特に必要があれば、観点を追加して記入する。</p>										
	社会的学習への関心・意欲・態度										
社会	国語への関心・意欲・態度					社会					
	社会的学習への関心・意欲・態度										
数学	数学への関心・意欲・態度					数学					
	<p>評定については、中学校学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、その実現状況を総合的に評価し、記入する。評定に当たっては、評定は各教科の学習の状況を総合的に評価するものであり、「1観点別学習状況」において掲げられた観点は、分析的な評価を行うものとして、各教科の評定を行う場合において基本的な要素となるものであることに十分留意することが望まれる。その際、観点別学習状況の評価を、どのように評定に総合するか具体的な方法等については、各学校において工夫することが望まれる。</p>										
	数学への関心・意欲・態度										
理科	観察・実験の技能					理科					
	自然事象についての知識・理解										
音楽	音楽への関心・意欲・態度					音楽					
	音楽表現の創意工夫										
	音楽表現の技能										
美術	美術への関心・意欲・態度					美術					
	発想や構想の能力										
	創造的な技能										
保健体育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度					保健体育					
	運動や健康・安全についての思考・判断										
	運動の技能										
技術・家庭	生活や技術への関心・意欲・態度					技術・家庭					
	生活を工夫し創造する能力										
	生活の技能										
外国語	コミュニケーションへの関心・意欲・態度					外国語					
	外国語表現の能力										
	外国語理解の能力										
総合的な学習の時間の記録											
						学年	学習活動	観点	評価		
						1					
						2					
						3					
<p>総合的な学習の時間については、この時間に行った学習活動及び指導の目標や内容に基づいて定めた評価の観点を記載したうえで、それらの観点のうち、生徒の学習状況に顕著な事項がある場合などにその特徴を記入するなど、生徒にどのような力が身に付いたかを文章で記述する。なお、学習活動の欄は、活動の内容が理解できる表現で記入する。</p>											
特別活動の記録											
						内容	観点	学年	1	2	3
						学級活動					
						生徒会活動					
						学校行事					
<p>特別活動における児童の活動については、各内容ごとにその趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合には、○印を記入する。なお、評価の観点は、指導要録作成時に記入しておく。</p>											

生徒氏名

行動の記録については、各教科、特別活動、総合的な学習の時間、その他学校生活全体にわたって認められる生徒の行動について、各項目ごとにその趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合には、○印を記入する。また、特に必要があれば、項目を追加して記入する。

行 動 の 記 録									
項 目	学 年	1	2	3	項 目	学 年	1	2	3
基本的な生活習慣					思いやり・協力				
健康・体力の向上					生命尊重・自然愛護				
自主・自律					勤労・奉仕				
責任感					公正・公平				
創意工夫					公共心・公德心				

総 合 所 見 及 び 指 導 上 参 考 と なる 諸 事 項	
第1学年	<p>総合所見及び指導上参考となる諸事項については、生徒の成長の状況を総合的にとらえるため、以下のような事項などを記入する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>各教科や総合的な学習の時間の学習に関する所見</li> <li>特別活動に関する事実及び所見</li> <li>行動に関する所見</li> <li>進路指導に関する事項</li> <li>生徒の特徴・特技、学校内外における奉仕活動、表彰を受けた行為や活動、学力について標準化された検査の結果等指導上参考となる諸事項</li> <li>生徒の成長の状況にかかわる総合的な所見</li> </ol> <p>記入に際しては、生徒の優れている点や長所、進歩の状況等を取り上げることが基本となるよう留意することが望まれる。ただし、生徒の努力を要する点などについても、その後の指導において特に配慮を要するものがあれば記入する。</p> <p>観点別評価がすべてC評価の教科については、どのような手立てを講じたか、また、変容が見られた場合は、その内容も記入する。</p> <p>なお、5については、標準化された学力等の検査を受けていない生徒については、受検していない旨を記入する。また、知能検査を実施した場合は、実施年月日と知能SSを記入する。</p> <p>通級による指導を受けている生徒については、通級による指導を受ける学校名、通級による指導の授業時数、指導期間、指導の内容や結果等を記入する。</p> <p>通級による指導の対象となっていない生徒で、教育上特別な支援を必要とする場合については、必要に応じ、効果があったと考えられる指導方法や配慮事項を記入する。</p>
第2学年	
第3学年	

出 欠 の 記 録						備 考
区分	授業日数	出席停止・ 忌引等の日数	出席しなければ ならない日数	欠席日数	出席日数	
1						授業日数は、生徒の属する学年について授業を実施した年間の総日数を記入する。この授業日数は、原則として、同一学年のすべての生徒につき同日数である。ただし、転学をした生徒については、転学のため学校を去った日までの授業日数を記入し、転入学をした生徒については、転入学をした日以後の授業日数を記入する。
2						
3						